



こんなサロンに行ってみたい!

～ 新年特別編 ～

「スカルプケア専門店OHBA」体験記

～ 現在注目の、髪を育てる工場“頭皮”のケア～

先日 11 月 29 日 (日) の朝日新聞朝刊に、『髪育てる「頭皮」ケアを』が紹介されました。

インタビューは、日本スカルプケア協会の会長大場隆吉氏。大場氏は、都内にスカルプケア専門店を展開し、自らも施術の傍ら、「頭皮についての専門家」として講演活動を行っており、そこで提唱する「OHBA スカルプメソッド」は、雑誌やメディア等でも取り上げられ注目されています。氏は、「髪の土台である頭皮は、髪を育てる工場であり土壌。だからスカルプ(頭皮)ケアがまず大切。」と説きます。そしてその長年の経験に基づくマッサージメソッドの根底にあるのは、人に対する深い愛情と丁寧に触れるということ。サロンでそれを体感し感動したという声を聞き、これは体験すべき!とさっそくサロンに行ってみました。

受けたコース：トータルケアコース (15,750 円 / 2 時間 30 分) 海藻パック付

頭皮の健康診断・カウンセリング 肩首のマッサージ 頭皮のセル・レーション(マッサージ)

ガラス管にて吸引 海藻パック シャンプー コンディショニング ブロー

今回、赤坂店に体験に行ってきました。まずはマイクロスコープで頭皮の健康診断。頭皮は、毛穴の状態もよくパールの輝きがあるとお褒めのコトバをいただきましたが、表皮の状態に一部ざらつきと毛穴のつまりがあるとのことで、そのケアに最適なメニューの組み立てをしてもらいました。

丁寧に触れることの大切さ 肩甲骨周りのマッサージの後、いよいよ頭皮のマッサージに。指先や手根部で優しく頭皮に触れてきた後、頭皮をしっかりと吸いつかせた手指が丁寧に頭皮を動かし、ほぐしていきます。指だけでなくその人に包まれるような感覚に、安心感と大切にされているのを感じます。頭皮は新陳代謝が活発で、一日に伸びた髪の毛を 1 本につなげると、成人で約 25m にも達するとのこと!だから、頭皮に正しく触れて細胞の持つ力を活性化させることが何より大切とのこと。また大場氏は「丁寧に触れる」のを、触れ始めと終わりを「ゼロの力」で触ること、と教えています。ゼログラムの触れ方により、優しさが伝わることを教えの中で実感したそうです。



末端を制するものは、全身を制す! マッサージの途中、お腹がゴロゴロと活発に動き始め、手足がポカポカと温かくなってきたという効果を実感しました。お客様の声でも髪の毛の悩み(髪が太くなってきた、白髪が黒くなってきた)などの解消はもちろんのこと、「視界がハッキリしてきた」「肌のくすみが取れてきた」「風邪を引きにくくなった」など、全身の効果を実感する声も多いといえます。

地・慈・滋! マッサージの後、吸引で皮脂を取り除き、その後海藻パック。丁寧にシャンプーされてからマイクロスコープでケア後の頭皮をチェック。頭皮はざらつきがなくなりツヤ感が全体的に出てき、部分的にあった毛穴のつまりは綺麗に除去され、髪も全体的に元気な立ち上がりになっていました。まさに、髪づくりの聖地“地肌”の強化!そして“慈愛”に包まれたマッサージ、海藻パックなどやコンディショナーなど“滋養”による濃密なケア時間は、髪、地肌、脳、こころにも栄養とゆとりを与えてくれた気がします。

頭皮に触る習慣を!

たった 1 回のケアで、様々な効果と深いリラクゼーション、満足感を得ることができました。大場氏は、人と人との触れ合いの機会が少なくなっている現在、「触れること」の素晴らしさを頭皮のケアを介して伝えています。私も毎日頭皮に触れる習慣を取り入れるとともに、自分自身をいたわる時間を持ちたいと思いました。

(担当: 鈴木 美香)

ヘアドレッシング大場

1882 年創業の OHBA は、日本に現在の理美容の西洋式技術を導入したサロン。また親子三代にわたり天皇陛下の御調髪師も努めている。4 代目オーナー大場隆吉氏によりスカルプケアの専門店を営む。現在赤坂、新宿、青山にサロンを展開。雑誌やメディアなどでも活躍中。

<http://www.ohba.ne.jp>